マンスリーレポート

Monthly Report

データは2026年10月30日現在

amova アモーヴァ・アセットマネジメント

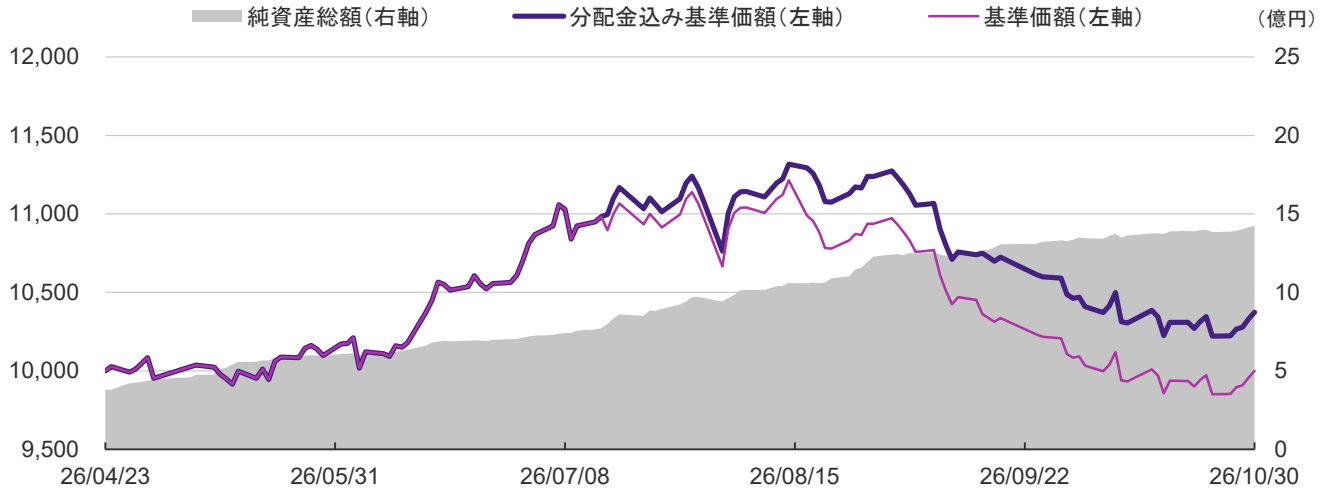
グローバル金融株ファンド（予想分配金提示型）

設　定　日	：2026年4月23日	償　還　日	：2047年4月15日	決　算　日	：原則、毎月15日
収 益 分 配	：決算日毎	基 準 価 額	：10,000円	純 資 産 総 額	：14.23億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

運用実績

基準価額の推移



※基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-0.83%	-6.28%	2.88%	-	-	3.75%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金実績（税引前）

設定来合計	直近12期計	26・7・15	26・8・17	26・9・15	26・10・15
400 円	400 円	100 円	200 円	100 円	0 円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

資産構成比

株式	78.1%
投資証券	0.0%
現金その他	21.9%

※「資産構成比」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、純資産総額比です。

基準価額騰落の要因分解

前月末基準価額		10,084円
当月お支払いした分配金		0円
要　因	株式	-67円
	為替など	0円
	その他	-17円
当月末基準価額		10,000円

※要因分解は、概算値であり実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

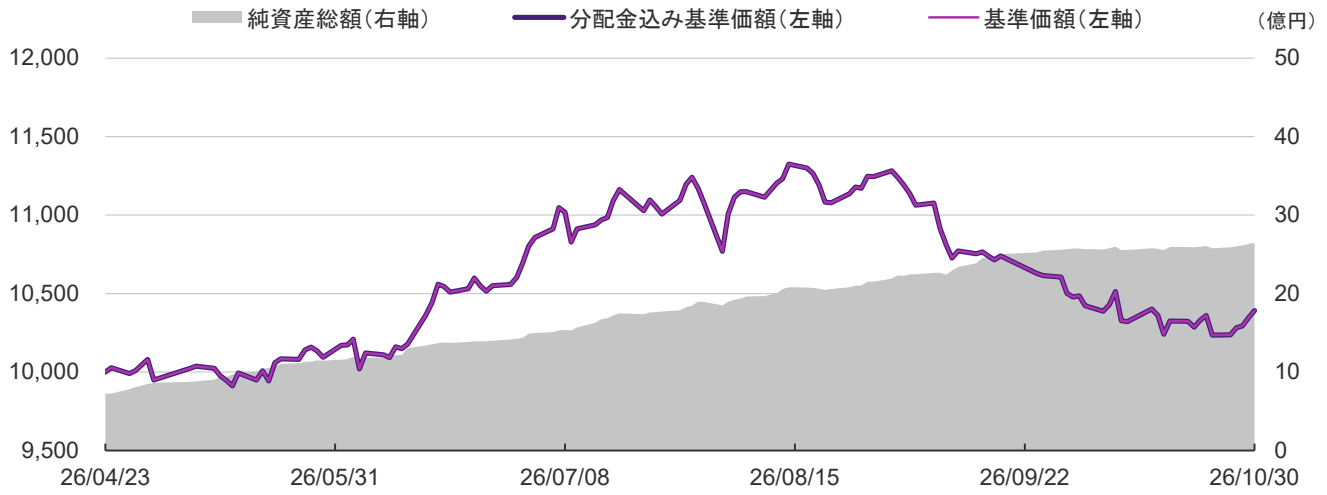
グローバル金融株ファンド(1年決算型)

設　定　日	：2026年4月23日	償　還　日	：2047年4月15日	決　算　日	：原則、毎年4月15日
収 益 分 配	：決算日毎	基 準 価 額	：10,391円	純 資 産 総 額	：26.47億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

運用実績

基準価額の推移



※基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-0.82%	-6.16%	3.09%	-	-	3.91%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金実績(税引前)

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

資産構成比

株式	78.3%
投資証券	0.0%
現金その他	21.7%

※「資産構成比」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、純資産総額比です。

基準価額騰落の要因分解

前月末基準価額		10,477円
当月お支払いした分配金		0円
要　因	株式	-69円
	為替など	1円
	その他	-18円
当月末基準価額		10,391円

※要因分解は、概算値であり実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの内容

※下記データはマザーファンドの状況です。
※「組入上位10通貨」「組入上位10ヵ国」「組入上位10業種」「組入上位10銘柄」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10通貨

アメリカドル	43.8%
ユーロ	18.5%
イギリスポンド	8.1%
香港ドル	7.1%
韓国ウォン	1.3%
スイスフラン	0.7%
マレーシアリンギット	0.7%
ブラジルレアル	0.3%

組入上位10ヵ国

アメリカ	37.9%
イギリス	9.4%
中国	6.2%
イタリア	5.3%
ドイツ	3.6%
ギリシャ	2.8%
フランス	2.7%
日本	2.3%
インド	2.1%
アイルランド	1.7%

組入上位10業種

銀行	42.6%
金融サービス	26.6%
保険	9.1%
ソフトウェア・サービス	1.2%
不動産管理・開発	1.0%

組入上位10銘柄（組入銘柄数：71銘柄)

	銘柄	通貨	国名	業種	比率
1	BARCLAYS PLC	イギリスポンド	イギリス	銀行	3.1%
2	DEUTSCHE BANK AG-REGISTERED	ユーロ	ドイツ	金融サービス	2.6%
3	CARLYLE GROUP INC/THE	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	2.4%
4	STIFEL FINANCIAL CORP	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	2.2%
5	CITIGROUP INC	アメリカドル	アメリカ	銀行	2.2%
6	BANK OF AMERICA CORP	アメリカドル	アメリカ	銀行	2.2%
7	INTESA SANPAOLO	ユーロ	イタリア	銀行	2.1%
8	UNICREDIT SPA	ユーロ	イタリア	銀行	2.1%
9	KKR & CO INC -A	アメリカドル	アメリカ	金融サービス	2.0%
10	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	アメリカドル	アメリカ	保険	1.9%

※上記は、個別の銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

規模別構成比

時価総額	比率
超大型株（500億米ドル以上）	32.9%
大型株（100億米ドル以上500億米ドル未満）	39.8%
中型株（20億米ドル以上100億米ドル未満）	19.5%
小型株（20億米ドル未満）	7.8%

※「規模別構成比」はマザーファンドの組入銘柄の時価評価額に対する比率です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

当月、グローバル金融株式市場は上昇しました。

欧州・英国の国債スプレッドの拡大に加え、銀行への課税強化懸念がセンチメントを圧迫しました。英国での最終的な結論は懸念されたほど悪くなく、追加の銀行税は3%から6%に引き上げられましたが、15か月間に限定されました。さらに重要なのは、銀行の基礎的なファンダメンタルズが引き続き健全であることです。当四半期、欧州の銀行の業績予想は17四半期連続で上方修正されました。信用の質は堅調で、コストは十分に抑制されており、貸出の伸びは改善しています。これにより、銀行は預金獲得競争の高まりを価格に転嫁できる良好な立場にあると考えています。

アジアはより厳しい状況でした。ブローカーや保険会社の一部が、大中華圏の株価下落に巻き込まれ、税務執行の厳格化や規制変更もセンチメントを悪化させました。政策当局からのより支援的なシグナルにより、今後は市場が安定化に向かうと見込まれます。

米国は比較的堅調でした。決算は底堅く、純金利収入は予想よりも良好で、これがトレーディングおよび資本市場収益の減少を補いました。今後の問題は、規制と政治の環境であると考えられます。引き続き、魅力的な預金基盤を持つ米国の地方銀行を選好しており、投資銀行へのエクスポージャーを追加しました。米国中間選挙でのブルーウェーブは、地方銀行のM&Aの大幅な増加につながる可能性があると考えています。

◎運用概況

当月、当ファンドのリターンはマイナスとなりました。

無差別的な売りがみられた月中の下落局面を利用して、複数の銘柄を買い増ししました。欧州の銀行は、2026年第3四半期決算シーズンにおいて、17四半期連続で業績予想が上方修正されました。

政治・規制面の不透明感により、特に欧州とアジアでは市場のボラティリティが上昇しました。ただし、このボラティリティを利用して、月中に保有キャッシュの一部を再投資し、特に欧州の銀行銘柄を買い増ししました。

◎今後の見通し

総じて、当ファンドは選別的にリスクを積み増しています。初秋には潤沢なキャッシュを保有していましたが、バリュエーションの改善に伴ない、特に9月の米国と10月の欧州で投入を開始しました。ただし、11月初めに再び高まったボラティリティは、相当額のキャッシュを維持することの重要性を改めて示しています。これにより、市場が選挙の影響やより広範な地政学的見通しを消化していく中で、さらなる市場の混乱を捉える柔軟性が確保されます。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、金融関連企業の株式などを主要投資対象とします。

- 株式の銘柄選定にあたっては、各企業のファンダメンタルズに加え、マクロ環境などを勘案して行ないます。
- 株式の組入比率は、原則としてマザーファンドの純資産総額の70%以上とすることをめざします。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

2 アルジェブリス・インベストメンツ（US）インク（以下、アルジェブリス）が実質的な運用を行ないます。

- 世界の金融関連企業が発行する証券での運用に精通した資産運用会社、アルジェブリスがマザーファンドの運用を行ないます。

3 お客様の運用ニーズに応じて、「予想分配金提示型」と「1年決算型」の2ファンドからお選びいただけます。

- 「予想分配金提示型」は、毎月15日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。
  各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じて、原則として、以下の金額の収益分配を行なうことをめざします。
  ※2026年5月および6月の決算時は無分配とし、2026年7月以降の毎決算時に分配金の支払いをめざします。

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

◆ 分配金額は、毎決算時に、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合や、基準価額水準、市場動向などによっては、委託会社の判断により上記とは異なる分配金額となる場合や、分配を行なわない場合もあります。
◆ 基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を行なうというものではありません。
◆ 分配金が支払われた場合、その金額相当分、基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。
◆ あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

- 「1年決算型」は、毎年4月15日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。
  ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2047年4月15日まで（2026年4月23日設定）
決算日	＜予想分配金提示型＞ 毎月15日（休業日の場合は翌営業日） ＜1年決算型＞ 毎年4月15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込み（スイッチングを含みます。）の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※予想分配金提示型は、NISAの対象ではありません。 ※1年決算型は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いがなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.3%（税抜3%）以内 ※購入時手数料（スイッチングの際の購入時手数料を含みます。）は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 ≪ご参考≫ （金額指定で購入する場合） 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額（お支払いいただく金額）となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料（税込）をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。 ※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 （口数指定で購入する場合） 例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.3%（税込）で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。購入金額＝（10,000円／1万口）×100万口＝100万円、購入時手数料＝購入金額（100万円）×3.3%（税込）＝33,000円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくことになります。 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.881%（税抜1.71%）
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	アルジェブリス・インベストメンツ（US）インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕www.amova-am.com 〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】
・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】
・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】
・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【為替変動リスク】
・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

・当資料は、投資者の皆様に「グローバル金融株ファンド（予想分配金提示型）／（1年決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的としてアモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は　アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

販売会社

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは
※下記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

●グローバル金融株ファンド（予想分配金提示型）

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長（金商）第1号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第20号	○			
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第105号	○			○

●グローバル金融株ファンド（1年決算型）

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長（金商）第1号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第5号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第20号	○			
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第105号	○			○

収益分配金に関する留意事項

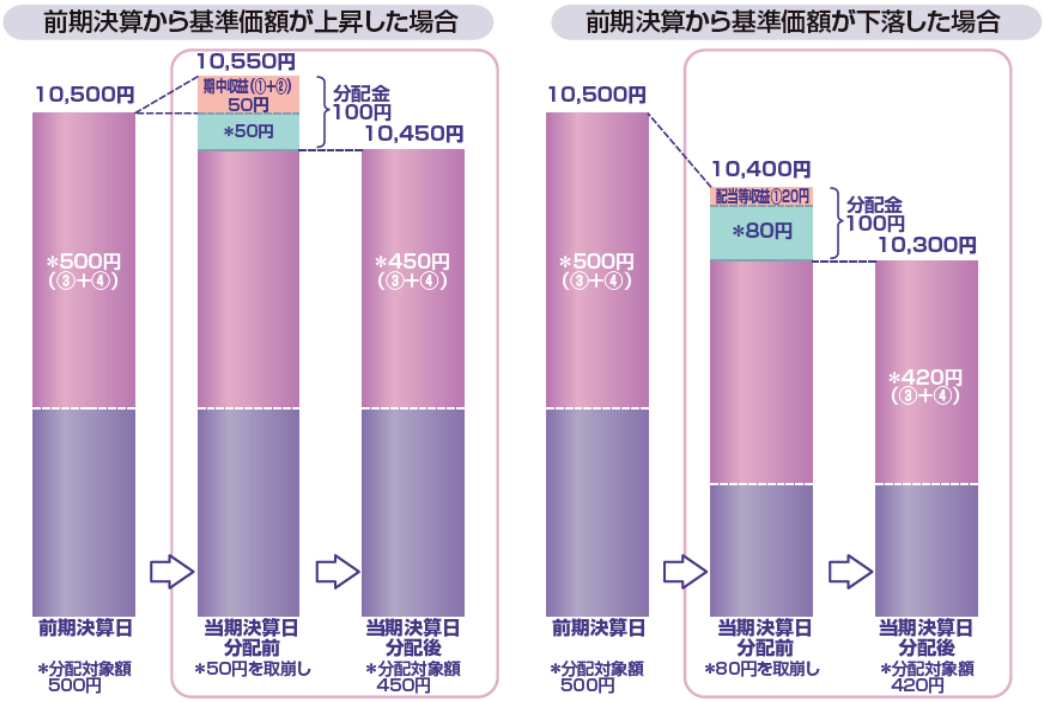
●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

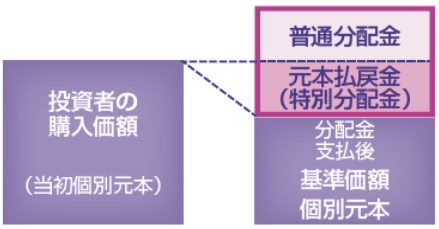
計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



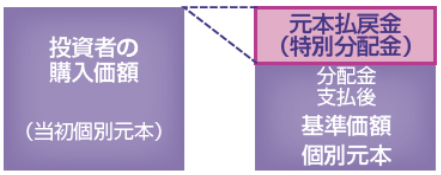
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。
また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

・普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。